

2013 年 大学入試センター試験 【講評(速報)】 数学 I ・ A

1. 総論

(1) 出題数と形式

昨年度と同様の大問数，配点であった．内容的にも大きな変更点はなく，今年も図形問題では，参考図がなかった．

(2) 出題内容

教科書のすべての単元からまんべんなく出題された．図形に絡む問題が増え，設問内容を把握するのに手間取ったかもしれない．計算もうまくやらないと計算量が増えるような設定のものが多く，時間的に厳しくなってしまった受験生もいたであろう．

(3) 問題の難易度

昨年度よりも難化した．

2. 大問ごとの分析

第1問 [1] 数と式，[2] 集合と論理

[1] 誘導にしたがって順序立てて計算すれば，計算量も少なく済んだ．

[2] 論理からの出題としては珍しく，図形を題材とした問題が出されたので，面食らった受験生も多かったであろう．対偶を使えたかどうかが鍵だったろう．

第2問 2次関数

動点の問題において自分で座標を設定することに慣れていない受験生は出足からつまずいたであろう．(2)の計算で手間取ると，全体の時間配分に響くことになる．

第3問 図形の計量，平面図形

本年度は「三角比」からの出題が $\cos \angle OAD$ を問う 1 問だけであった．図を設問に応じてかき分けないと，実際には単純な図形であったものが難問化したかもしれない．また，比の値をうまく使って計算しないと，計算量も多くなってしまう．

第4問 場合の数と確率

本年度も昨年度の傾向を踏襲し，「場合の数」からの出題があり，また問題自体は易しかった．時間配分を間違わなければ，取りやすい問題であった．